

神奈川県の学童保育

全国研成功を誓い第43回定期総会開催す

去る6月24日、神奈川県学童保育連絡協議会第43回定期総会を開催しました。横浜市従会館ホールに9地域から29名が参加しました。来賓は「神奈川県の学童保育を支える議員連盟」会長佐藤県議はじめ5名の参加でした。議長に大和市連協の弓気田さんを選出し、議事が進行されました。情勢報告に続いて2017年度活動報告、決算報告、監査報告があり、質疑の後承認されました。更に、2018年度活動方針並びに予算案が提案され、質疑応答の末、承認されました。質疑の中で、「予算案の組み立てについて、今後の財政立て直しの見通しについてどう考えているか」という質問があり、「1-2年の間には何らかの対策が必要」との財政局の見解が示されました。また、今後の認定資格研修等での県連協講師団の強化について、文化活動の必要性について、認定資格研修の対象要件の緩和により対象者増加のための計画見直しを県に要望するのかどうか等の質問があり、適切な説明がされました。

新役員体制を確認して議事を終了しました。

午後は地域の交流会で情報交換をしました。

今回の総会は今秋に「全国学童保育研究集会 in 神奈川」を控えその成功に向けた盛り上がりを作ることも一つのねらいでした。交流会では、各地域での全国研にむけた取り組みについて様々な努力が繰り返されていることが報告されました。また、各地域が抱える現状の問題点についても、率直な意見交換をしました。保護者会が活発で、保護者が生き生きと楽しんでいる学童クラブの状況の紹介を始め、目指す学童保育に保護者会の活動が大切との思いを確かめ合いました。

総会終了後、有志での交流会を実施し、大いに盛り上がりました。

第43回全国学童保育指導員学校 南関東会場

去る6月17日(日)に千葉県船橋市において、第43回全国指導員学校(南関東会場)が開催されました。

この指導員学校は、東京都(23区、三多摩)、千葉県、神奈川県の4連協の持ち回りで事務局と会場を担当し開催しています。順番では、今年は神奈川県が担当するはずでしたが、10月に開催する「全国研 in 神奈川」のため、千葉県での開催となりました。

全体会も分科会も2か所で行われるなど、事務局連協である千葉県連協が、会場の確保にたいへん苦労されての開催でした。

受講者数は、1都10県725名(第42回は1都16県765名)。神奈川県内からも16市161人が受講しています。

全体会は「学童保育指導員に求められること・できること～子どもも保護者も指導員も笑顔でいられるために～」と題し、下浦忠治氏と高橋誠氏のお二人に各会場で全体講義をしていただきました。お二人とも実体験に基づいた内容で、保護者を支えることの大切さ、子どもにとっての居場所であるとはどういうことかなどお話しいただきました。参加者の感想からは「涙した」「感動した」など多くの称賛の声が上がっています。

午後の分科会では基礎講座(4)、実践講座(7)、理論講座(5)、実技講座(2)、特別講座(1)の計19講座が用意されました。継続して設けられた講座のほかに、「学童期の子どもと性」という初めての講座も設定しました。また、しばらくぶりではありますが、実技講座として「救急法を学ぶ」「つくってあそぼう」も行いました。

「資質向上のための研修」として位置付け組み立てをしていますが、受講者アンケートを通し、参加者の意識の高まりを感じることができました。

来年は神奈川県連協が事務局を担当しての実施となります。

「平成30年7月豪雨」学童保育支援募金の呼びかけ

全国学童保育連絡協議会より

2018年7月5日から西日本を中心に発生した集中豪雨により、大きな被害がありました。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

全国学童保育連絡協議会は、岡山県・広島県をはじめ西日本・四国・九州各府県の連絡協議会と連絡を取りあい、学童保育に関する情報収集をしています。全体の状況を把握するに至っていませんが、学童保育施設の被災や学童保育を利用している家庭や指導員の居住地での被災による影響、公共交通機関や基幹道路等が被害を受けたことによる影響などによる課題も少しずつ見え始めています。

全国学童保育連絡協議会は、学童保育復旧への支援、および子どもたちや指導員へのケアが必要になるであろうこと、そして今回の災害が県域を越えて広域に及んでいることから、支援のための募金を呼びかけることにしました。

今回呼びかける募金は、「平成30年7月豪雨」で甚大な影響があった府県の連絡協議会と相談のうえ、つぎのような取り組みに活用していく予定です。

- ① 学童保育施設の再建・補修や必要な備品などへの支援、
- ② 学童保育の運営費への補助
- ③ 研修・相談活動など学童保育指導員への支援、
- ④ 学童保育の拡充を支える体制づくりのため、被災した地域の学童保育連絡協議会等に対する支援

＜平成30年7月豪雨 学童保育支援募金の振込先＞

三井住友銀行（銀行コード：0009） 小石川支店（店番号：813）

普通預金 3821589 名義：全国学童保育連絡協議会

詳細は「日本の学童ほいく」9月号をご覧ください、ぜひご協力ください。

私のおすすめ「日本の学童ほいく」

毎月の運営委員会で、「私のおすすめ『日本の学童ほいく』」を地域持ち回りでご紹介いただいています。

6月は2018年5月号から、綾瀬市の佐伯さんからのおすすめです。

「出会い集い父母会」から「つながりに支えられ、歩んだ一年間を振り返って思うこと」。

綾瀬市連協でも役員決めが毎年たいへんです。いったん決まっても会長は無理だと辞退されてしまうこともあり。日野市連協はグループとして複数体制で会長職をしているとのこと。こんなやり方もあるのだと思いました。この記事を読み、役員が無理なく続けていけるようにいろいろな方法があると考えることが出来ました。

皆さんの地域でも、クラブでも連協でも、役員決めは大変だと思いますが、この記事を読み合いながら、支え合い、つながっていくために考えあう時間を作っていきますか？

7月の運営委員会では、残念ながらこのコーナーを設けることができませんでした。

2018年7月号～8月号に掲載されている神奈川からの投稿

＜2018年7月号＞

★ 子どものひろば 横浜市わんぱくクラブ 夢都生ちゃん（2年生）

☆ 出会い集い父母会「共に楽しく成長できる場であることを願って」

岡森次郎さん（横浜市保護者）

＜2018年8月号＞

★ 子どものひろば 横浜市上大岡学童クラブ はるきちゃん（3年生）

☆ 実践ノート「シンと関わるなかで①」 横須賀市栗田・ハイランド学童クラブ 清水美幸さん

＜第53回全国学童保育研究集会＞

7月号では全体会記念講演【増山均先生】の紹介が。巻末にはリーフレットもついています。

8月号では、出来上がったポスターについて平塚の内海さんが紹介してくれています^^♪

今日のつながりを明日の力に！そしてこの10月は神奈川で



～ 開催まで2か月余…準備急ピッチ ～

「53回全国研 in 神奈川」実行委員会事務局長 上崎輝夫

全国研 in 神奈川の開催が手の届くところまで来ました。全国からも研究集会への参加申込が到着しはじめていますし、ホテルの申し込みも順調のようです。

全国研専用のメールアドレスには「全国研準備ありがとうございます」「全国研を楽しみにしております」「暑い日が続きますが、皆さまご自愛ください」などと励ましとお礼のメールも届いております。期待されているな、としみじみ感じると同時に、頑張ろう、と気が引き締まる思いです。

集会準備に目を移してみると、子どもの歓迎行事の演目もほぼ固まりつつあり、これから本格的な練習が行われることでしょう。また、参加者に渡される参加証(お土産)も製作する物が決定し、各地域に割り振られた数を子どもたちが夏休みの間に、全国から集う参加者に向けて作られます。子どもの保育やお弁当、会場設営、道案内を含めた全体会や分科会の準備に加え、交流会の企画検討、速報など、準備しなければならないことは山積しています。こうして準備にかかわってみると、

これまで開催準備をしてこられた地域連協のご苦勞が身にしみてわかると同時に、感謝の気持ちがわいてきます。

<要員用Tシャツのイラスト>

今年の夏は西日本を襲った豪雨災害や異例のコースをたどった台風12号による被害など、これまで経験したことが役に立たないほどの被害が続きます。当該の地域や過去の災害の復興途中の地域からも全国研 in 神奈川に集う方も多くいらっしゃると思います。そうした方々を温かく迎えられるように、成功に向けての準備を怠りなくしていきたいと思えます。



あと2か月余、同じクラブや地域の仲間に、集会への参加はもちろん、要員としての参加の呼びかけも積極的に呼び掛けていきましょう。

物品販売

天然の味【元祖笹川流れ】の 昆布塩

日本海の清海水に北海道産昆布を入れ、特許製法で沸騰させない釜で仕上げた塩です。おにぎり、浅漬けのほか、キュウリにつけて食べると格別です。

他で買うより半額以下の値段になっています。
販売価格…350円/個（200g入り）
3個 1,000円

小豆島の高級手延素麺

夏本番！流しそうめんはいかがですか？
時間がたっても伸びにくい小豆島の手延素麺は、流しそうめんにもピッタリです！
今年はケース単位のみ扱いとなります。
販売価格…1500円/箱（50g×30束入り）
1袋（14箱入り 21,000円）送料無料で製麺所から直送されます。

【編集後記】

2年後のオリンピックの事が何かと報道されている。

暑さ対策のため開始時間を早める競技もあるとか。54年前は10月開催。体育の日が開会式。アスリートファーストならいつがいいのかな？

指導員の皆さん、子ども共々暑さ対策には最大限の対応を

活動報告(6月～7月の主な活動報告)

6月3日(日)	53全国研 in 神奈川拡大実行委員会	7月2日(月)	県連協7月度役員会
6月7日(木)	県連協7月度運営委員会	7月5日(木)	県連協7月度運営委員会
6月15日(金)	県連協7月度役員会	7月19日(木)	53全国研 in 神奈川実行委員会
6月17日(日)	43全国指導員学校・南関東会場	7月30日(月)	県連協8月度役員会
7月21日(木)	53全国研 in 神奈川実行委員会		
6月24日(日)	県連協第43回定期総会	なお、県議会各党派とのヒアリングを7月17日(火)を皮切りに行っています。	
6月28日(木)	52指導員交流会(平塚市)		

♪ 地域連協だより ♪

海老名市連協だより

平成30年度海老名市連協は支援員の研修と市連協加盟の学童保育所に通う高学年を対象にした合同キャンプを中心に活動をスタートしました。

支援員の研修については講義形式とグループワーク形式を組み合わせ、講義で学んだことをグループワークでより深め合い、実践的に繋げられるよう心掛けています。

第1回の研修については横浜の八木先生に『学童保育の安全を考える』をテーマに講義して頂き、市内から70名近い支援員が参加し、その後のグループワークにも大いに活かすことができました。引き続き、市内の支援員の資質向上に向けて研修を積み重ねていきたいと考えております。

また今年度より高学年プログラムとして、学校の体育館に宿泊するイベントを企画しました。学校の体育館に泊まり、空き缶で炊飯体験をしたりなど、高学年同士の交流をメインに実施する予定です。

子ども達の交流ももちろんですが、1つの行事を通し、市内の支援員の輪が広がることを期待しています。

次号の「地域連協だより」は南足柄市連協が担当です。お楽しみに！

<これからの主な予定>



- 9月9日(日) 53全国研実行委員会総会②(横浜市西公会堂会議室・AM)
- 9月9日(日) 県連協拡大運営委員会(横浜市西公会堂会議室・PM)
- 9月29日(土) 神奈川県の学童保育を支える議員連盟との懇談会(ホテルガーデン横浜)
- 10月20日(土) 第53回全国学童保育研究集会 in 神奈川 全体会(横浜文化体育館)
- 10月21日(日) 同 分科会(関東学院大学)
- 1月6日(日) 県連協「日本の学童ほいく」普及推進会議(横浜市健康福祉センター・AM)
- 1月6日(日) 県連協「新春会長会議」(横浜市健康福祉センター・PM)

*その他、運営委員会は毎月第1木曜日、全国研実行委員会を第3木曜日開催。役員会は運営委員会のある週の月曜日に変更となりました。